年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　国語　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　F　組

教科担当者：　(A組：久保田)　(B組：久保田)　(C組：川崎)　(D組：川崎)　(E組：久保田)　(F組：久保田)

使用教科書：　(　数研出版「高等学校現代の国語」　)

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1　評論の読み方 ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「論理的ということ」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を理解させる。 ・問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にさせる。			○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。［(1)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、エッセイを読み、内容や構成，論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。［C (1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にしようとしている。	○	○	○	2
	2　対比の構造 ・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「水の東西」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使わせる。 ・個別の情報と一般化された情報との関係を理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握させる。 ・進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述させる。			○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。［(1)ウ］ ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。［(2)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。［C (1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。	○	○	○	4
	3　実用の文章１ ・コミュニケーションの手段を考える。 ・文章と図表の関連性をとらえる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「非言語コミュニケーション」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・非言語コミュニケーションの要素や特徴を理解させる。 ・非言語コミュニケーションが果たす役割を理解させる。 ・コミュニケーションのあり方について考え、自分の意見をもたせる。	○			【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。［(2)イ］ ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討している。［A(1)ア］ ・文章と図が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	4　一般論と主張 ・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「わらしべ長者の経済学」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。			○	【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［C(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	7
	5　文章と資料を関連づけて書く ・構成や展開を意識して文章を書く。 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「ポスト・プライバシー」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。		○		【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。［(2)エ］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章と複数の資料を積極的に読み比べることで実社会に関する考察を深め、学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2学期	6　実用の文章２ ・読み手が必要とする情報に応じて企画書を書く。 ・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「文章の構成を工夫して提案する」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。	○			【知識・技能】 ・実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［⑴エ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。［B⑴イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料等を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に企画書を作成しようとしている。	○	○	○	2
	7　具体と抽象 ・具体と抽象の対応をとらえ、情報を読み取る。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「ものとことば」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。			○	【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。［⑴ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［C⑴ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	8　具体例を示す ・文章中の表現の具体例を探し、その内容を文章にまとめる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「人と自然の共生とはどういうことか」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方の理解を深めさせる。 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にさせる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。		○		【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。［⑵エ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。［B⑴ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りや社会の中から積極的に適切な実例を調査し、学習課題に沿ってわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	9　比較する ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「絵を前に思いをめぐらす」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方を理解させる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。			○	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。［⑴カ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。［B⑴ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	○	○	○	7
	１０　賛否を述べる ・立場を検討する際に必要な要素を押さえる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「命は誰のものなのか」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。		○		【知識・技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。［⑵ア］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。［B⑴エ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	○	○	○	3
	１１　実用の文章３ ・集めた情報と検討内容を資料にまとめ、発表する。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「課題を発見し解決策を発表する」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めさせる。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して伝え合う内容を検討させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。	○			【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。［⑵エ］ 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。［A⑴ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1

３学期	１２　視野を取り戻す ・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「他者を理解するということ」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。			○	【知識・技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。［⑵ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［Ｃ⑴ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	○	○	○	9
	１３　考えを発信する ・文章中から根拠を見つけて、自分の考えを書く。 ・自分を考えを読み手に伝わりやすいように発表する。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「「羅生門」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解させる。 ・「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握させる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫させる。 ・意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握させる。	○	○		【知識・技能】 ・読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。［(1)オ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。［Ｂ(1)エ］ ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫している。［Ａ⑴イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1 合計 68

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　F　組

教科担当者：　(A組：久保田)　(B組：久保田)　(C組：久保田)　(D組：久保田)　(E組：川崎)　(F組：川崎)

使用教科書：　(　東京書籍「精選言語文化」　)

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	古１　古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「宇治拾遺物語」「竹取物語」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 ・積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明させる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［⑵ウ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B⑴ア］ 【学びに向かう力】 積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
	古２　現代にも生きる教え 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「徒然草」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 ・粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理させる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［⑵ウ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［B⑴ア］ 【学びに向かう力】 粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	漢１　日本語の中に生きる漢文 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「入門一・二」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもたせる。 ・漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明させる。			○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［⑵ア］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。［B⑴オ］ 【学びに向かう力】 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
	漢２　故事と成語 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「戦国策」「韓非子」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組ませる。			○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［⑵ア］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。［B⑴エ］ 【学びに向かう力】 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2学期	古３　和歌による心の交流 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「伊勢物語」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 ・粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈させる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［⑵ウ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。［Ｂ⑴ア］ 【学びに向かう力】 粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。	○	○	○	6
	漢３　読み継がれる歴史 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「十八史略」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組ませる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。［⑵イ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。［Ｂ⑴エ］ 【学びに向かう力】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	○	○	○	6
	古４　平安宮廷文学の世界 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「枕草子」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもたせる。 ・積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書かせる。		○	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［⑵ウ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。［Ｂ⑴オ］ 【学びに向かう力】 積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	古５　戦乱化の人間像 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「平家物語」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 ・「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加させる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。［⑵ウ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［Ｂ⑴イ］ 【学びに向かう力】 「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	6
	漢４　漢詩のことば 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「静夜思」他 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・漢詩を創作する課題において、粘り強く取り組ませる。		○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。［⑵ア］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。［Ｂ⑴エ］ 【学びに向かう力】 漢詩を創作する課題において、粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	6
	現１　受け継がれる漢文 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「山月記」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・『山月記』と『人虎伝』の違いとその理由を粘り強く検討し、これまでの学習を生かして考察させる。			○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［⑴ウ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。［Ｂ⑴エ］ 【学びに向かう力】 『山月記』と『人虎伝』の違いとその理由を粘り強く検討し、これまでの学習を生かして考察しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

	現２　受け継がれる古文 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「羅生門」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 ・積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にさせる。			○	【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。［⑴エ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。［Ｂ⑴イ］ 【学びに向かう力】 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	○	○	○	4
	漢５　論説の文章 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「雑説」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人１台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・「雑説」の執筆背景を調べる活動において、粘り強く調査に取り組ませる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。［⑵イ］ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。［Ｂ⑴エ］ 【学びに向かう力】 「雑説」の執筆背景を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　地理歴史　科目　地理総合

教　科：地理歴史　　科　目：地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第１学年　Ａ組～Ｆ組

教科担当者　　沢辺　朋史

使用教科書：地理総合　（二宮書店）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史的展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、構想、考察したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して世界の空間的な諸事象の規則性傾向性や世界の諸事象の地域的特色や課題などを理解するとともに地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義特色や相互の関連を位置や分析場所人間と自然環境との相互依存関係空間的相互依存作用地域などに着目して系統地理的地誌的に概念などを活用して多面的多角的に考察したり地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に官給しようとする態度を養うとともに多面的多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚我が国の国土に対する愛情世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さにの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	地図とＧＩＳの活用 【知識及び技能】球面上の世界世界から見た日本の位置と領域について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理に親しむ	【指導内容】球面上の世界世界から見た日本の位置と領域について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】球面上の世界世界から見た日本の位置と領域について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理に親しんでいる	○	○	○	5
	地図とＧＩＳの活用 【知識及び技能】国内や国家間の結びつき暮らしの中の地図とＧＩＳについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理に親しむ	【指導内容】国内や国家間の結びつき暮らしの中の地図とＧＩＳについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】国内や国家間の結びつき暮らしの中の地図とＧＩＳについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理に親しんでいる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	地球的環境の特色 【知識及び技能】地形と生活文化気候と生活文化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理に親しむ	【指導内容】地形と生活文化気候と生活文化について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】地形と生活文化気候と生活文化について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理に親しんでいる	○	○	○	6
	地球的環境の特色 【知識及び技能】産業と生活文化宗教言語と生活文化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理に親しむ	【指導内容】産業と生活文化宗教言語と生活文化について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】産業と生活文化宗教言語と生活文化について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理に親しんでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2学期	世界各地の生活文化 【知識及び技能】経済発展と生活文化の変化東アジア宗教の多様性と生活文化ＡＳＥＡＮ諸国水の恵みと生活文化南アジアについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理を楽しむ	【指導内容】経済発展と生活文化の変化東アジア宗教の多様性と生活文化ＡＳＥＡＮ諸国水の恵みと生活文化南アジアについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】経済発展と生活文化の変化東アジア宗教の多様性と生活文化ＡＳＥＡＮ諸国水の恵みと生活文化南アジアについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理を楽しんでいる	○	○	○	6
	世界各地の生活文化 【知識及び技能】イスラーム社会の多様性と生活文化イスラーム圏多様な気候と生活文化アフリカについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理を楽しむ	【指導内容】イスラーム社会の多様性と生活文化イスラーム圏多様な気候と生活文化アフリカについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】イスラーム社会の多様性と生活文化イスラーム圏多様な気候と生活文化アフリカについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理を楽しんでいる	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	世界各地の生活文化 【知識及び技能】経済統合による生活文化の変化ＥＵと周辺諸国寒冷な気候と生活文化ロシアについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理を楽しむ	【指導内容】経済統合による生活文化の変化ＥＵと周辺諸国寒冷な気候と生活文化ロシアについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】経済統合による生活文化の変化ＥＵと周辺諸国寒冷な気候と生活文化ロシアについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理を楽しんでいる	○	○	○	8
	世界各地の生活文化 【知識及び技能】グローバル化による生活文化の変化アメリカカナダ土地の開発による生活文化の形成ラテンアメリカ植民と移民による生活文化の形成オセアニアについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理を楽しむ	【指導内容】グローバル化による生活文化の変化アメリカカナダ土地の開発による生活文化の形成ラテンアメリカ植民と移民による生活文化の形成オセアニアについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】グローバル化による生活文化の変化アメリカカナダ土地の開発による生活文化の形成ラテンアメリカ植民と移民による生活文化の形成オセアニアについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理を楽しんでいる	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3学期	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】地球的課題と国際協力について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理とともにある	【指導内容】地球的課題と国際協力について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】地球的課題と国際協力について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理とともにある	○	○	○	7
	生活圏の諸課題 【知識及び技能】生活圏の諸課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する地理とともにある	【指導内容】生活圏の諸課題について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】生活圏の諸課題について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る地理とともにある	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用）　教科　地理歴史　科目　歴史総合

教　科：地理歴史　科　目：歴史総合　単位数：　2　単位

対象学年組：第１学年　Ａ組～F組

教科担当者　世界史分野（１単位）：石井増男　日本史分野（１単位）：町田類

使用教科書：歴史総合　近代から現代へ（山川出版社）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史的展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、構想、考察したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】産業革命期から１９世紀にかけてのヨーロッパ情勢について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】産業革命期から１９世紀にかけてのヨーロッパ情勢について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】産業革命期から１９世紀にかけてのヨーロッパ情勢について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	5
	第3章 明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】幕末から明治にかけての政治について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】ペリー来航以降の幕末の動乱を、当時の世界的な状況のなかで理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】幕末から明治にかけての政治について理解している 【思考・判断・表現】幕末から明治の政治について考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】独立革命以降のアメリカの情勢とアジアの状況について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】独立革命以降のアメリカの情勢とアジアの状況について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】独立革命以降のアメリカの情勢とアジアの状況について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	6
	第3章 明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】明治立憲立憲体制の形成過程と民衆の動向について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】明治立憲体制の形成過程と民衆の動向について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】明治立憲体制の形成について理解する。またそれに対する民衆の動向について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解したうえで、考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2学期	第４章　帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】帝国主義の展開と、日清戦争・日露戦争とを結びつけて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】帝国主義の展開を日清戦争・日露戦争と関連づけて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】帝国主義の展開を日清戦争・日露戦争と関連付けて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解したうえで、考えをまとめて表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	6
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】第一次世界大戦とロシア革命以降の世界情勢について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】第一次世界大戦とロシア革命以降の世界情勢について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】第一次世界大戦とロシア革命以降の世界情勢について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解したうえで、考えをまとめて表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第6章 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】世界恐慌と第二次世界大戦の勃発について因果関係を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】世界恐慌と第二次世界大戦の勃発について因果関係を理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】世界恐慌と第二次世界大戦の勃発について因果関係を理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめ表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	8
	第７章　戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】日本における戦後の民主化について国際状況と関連づけて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】日本における戦後の民主化について国際状況と関連づけて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】日本における戦後の民主化について国際状況と関連づけて理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめ表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3学期	第８章　冷戦と世界経済 【知識及び技能】米ソを中心とした陣営の対立を世界経済と関連づけて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】米ソを中心とする二陣営の対立を世界経済と関連づけて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】米ソを中心とする二陣営の対立を世界経済と関連づけて理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめ表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	7
	第９章　グローバル化する世界 【知識及び技能】冷戦終結後の世界情勢を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】冷戦終結後の世界情勢について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】冷戦終結後の世界情勢について理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめ表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　数学　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ　組～　Ｆ　組

教科担当者：　（A組：國井）（B組：國井）（C組：石山）（D組：清水）（E組：國井）（F組：清水）

使用教科書：　（　ＮＥＸＴ数学Ⅰ　数研出版　）

教科　数学　の目標：

【知識及び技能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形し たりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について， データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い， 問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基 づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評 価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　数と式 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明すること。 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｱ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ｳ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 (ｲ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，簡単な無理数の計算をすることができる。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
	中間考査			○	○		1
	A　数と式 【知識及び技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明すること。 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｲ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 (ｴ)　不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。 (ｱ) 集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明すること。 (ｳ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (ｴ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	期末考査			○	○		1

2学期	C 二次関数 【知識及び技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 ・二次関数の最大値や最小値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｱ) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (ｲ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。 (ｱ) 二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 (ｲ) 二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	中間考査			○	○		1
	C 二次関数 【知識及び技能】 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また，二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｳ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また，二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。 (ｱ) 二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 (ｲ) 二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
	D図形と計量 【知識及び技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くこと。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｱ) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (ｲ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 (ｱ) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くこと。 (ｲ) 図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1

3学期	D 図形と計量 【知識及び技能】 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くこと。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｳ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 (ｱ) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くこと。 (ｲ) 図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	D データの分析 【知識及び技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善すること。	・指導内容 (ｱ) 分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 (ｲ) コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標 準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。 (ｳ) 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。 (ｱ) データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 (ｲ) 目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析 を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 (ｳ) 不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり， 批判的に考察したりすること。 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
	学年末考査			○	○		合計 99

年間授業計画　新様式

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　数学　　科目　　数学Ａ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　１学年　　Ａ　組～　　Ｆ　組

教科担当者：　（AB組：清水・柴宮・角本）（CD組：清水・柴宮・角本）（EF組：清水・柴宮・角本）

使用教科書：　（　NEXT 数学Ａ　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ａ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるように する。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解すること。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	・指導内容 (ア)集合に理解すること。 (イ)集合の要素の個数を求める。 (ウ)順列や組み合わせの総数を求める。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。	○	○	○	9
	中間考査			○	○		1
	A　場合の数と確率 【知識及び技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めること。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察すること。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	・指導事項 (エ)事象と確率について理解する。 (オ)確率の基本性質を理解する。 (カ)独立な試行における確率や条件付き確率を求める。 (キ)期待値を求める。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めている。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めている。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思考・判断・表現】 ・確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察している。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1

2学期	A　図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	・指導事項 (ア)三角形の角の二等分線と辺の比の関係を理解する。 (イ)三角形の外心内心重心を理解する。 (ウ)チェバ・メネラウスの定理を利用して、辺の比を求める。 (エ)円の性質を理解する。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	A　図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	・指導事項 (ア)三角形の角の二等分線と辺の比の関係を理解する。 (イ)三角形の外心内心重心を理解する。 (ウ)チェバ・メネラウスの定理を利用して、辺の比を求める。 (エ)円の性質を理解している。 (オ)２つの円と作図について理解する。 (カ)直線と平面、多面体について理解する。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。	○	○	○	14
	期末考査			○	○		1
3学期	C　数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。 ・数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについての理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察すること。 ・パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。	・指導事項 (ア)約数と倍数について理解する。 (イ)素数と素因数分解を理解する。 (ウ)最大公約数と最小公倍数を求める。 (エ)ユークリッドの互除法を用いて、最大公約数を求める。 (オ)１次不定方程式を解く。 (カ)記数法、座標の考え方を理解する。 (キ)ゲーム・パズルを数学的に処理する。 ・教材 ・一人１台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 ・数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについての理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 ・数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察している。 ・パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力，人間性等」に関わる資質・能力を，「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。	○	○	○	16
	学年末考査			○	○		合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　理科　科目　化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　F　組

教科担当者：　（A組：志村智也）　（B組：志村智也）　（C組：赤間大志）　（D組：赤間大志）　（E組：赤間大志）　（F組：赤間大志）

使用教科書：　（　啓林館「i版　化学基礎」（化基707）　）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】　自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，自然の事物・現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　物質の構成 第1節　物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 　日常生活や社会との関連を図りながら，物質の成分と構成元素について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の成分と構成元素についての観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の成分と構成元素に主体的に関わり，見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	・混合物と純物質の定義をし、日常に存在する物質を定義に基づいて分類する。 ・混合物の分離方法及び精製方法について整理する。 ・純物質をさらに化合物と単体に分類できることを定義し、日常の物質などをこの定義に基づいて分類する。 ・同素体になる元素は炭素、硫黄、リン、酸素の4種類であることを整理し、各同素体の性質等をまとめる。 ・元素の確認方法として炎色反応を取り上げ、観察・実験を通して各元素の成分を特定する。 ・沈殿反応を利用することによって塩素・硫黄・炭素・水素の元素を確認することができる。 ・物質の三態は固体、液体、気体からなることを確認し、それらの状態と気体分子の熱運動が深く関わっていることを整理する。 ・温度の表現には日常で用いるセルシウス温度【℃】と絶対温度【K】があり、それらの関係性についてまとめる。	【知識・技能】 ・様々な物質を単体・化合物・混合物のいずれかに分類することができる。 ・分離方法や生成方法に関する操作について理解している。 ・セルシウス温度を絶対温度に直すことができる。 ・ 【思考・判断・表現】 ・様々な物質をガスバーナーの外炎に入れ、その色を観察することでどの元素が含まれているかを適切に判断することができる。 ・物質の状態変化について、各状態について分子のモデルを用いて適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の成分と構成元素について，学習した用語どうしのつながりを自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第1章　物質の構成 第2節　原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 　日常生活や社会との関連を図りながら，原子の構造と元素の周期表について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の構造と元素の周期表についての観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造と元素の周期表について主体的に関わり，見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	・原子の構造は原子核及び電子から成り、その原子核は陽子と中性子から構成されていることを整理する。 ・指数の扱い方を整理するとともに演習プリントによって指数の表現方法を理解する。 ・陽子・中性子・電子の質量を定義し、原子番号や質量数の表現ができる。また、原子番号と中性子数から未知の元素の質量数を決定できる。 ・同位体や放射性同位体ついて整理し、放射性同位体には原子の壊変や半減期があることをまとめる。 ・電子配置について理解し、原子番号１～２０の元素の電子配置をそれぞれ表現できる。 ・元素の相互関係について理解する。 ・イオンの表現及び、イオン化エネルギーや電子親和力について理解する。また、イオンの大きさについて電子配置に基づいて考察する。 ・多くのイオンから組成式をつくる。 ・イオン結合・共有結合・配位結合・金属結合・分子間力のそれぞれの特徴について整理し、それらの結晶の性質についてまとめる。 ・電気陰性度と極性の関係を理解し、無極性分子や極性分子を化学式や構造式から判断する。	【知識・技能】 ・指数の計算について正しく計算できる。 ・同位体と放射性同位体の区別ができ、半減期の計算ができる。 ・原子の電子配置を理解し、様々なイオンの価数と関連しながら体系的に理解している。 ・イオン結合と組成式の関係を理解している。また、さまざまなイオンから組成式を作成できる。 ・分子の共有結合について理解し、分子の形や多原子分子のなどの分類が正しく行える。 ・配位結合について理解し、錯イオンの命名ができる。 ・分子結晶について理解し、分子結晶は分子間力によって成立していることを整理するとともに分子間力の3つの力を正しく理解している。 ・金属結合と金属結晶の性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子の構造を正しく理解し、原子番号や質量数を正しく表現できる。 ・岩塩をカッターとトンカチでへき開させることを見せ、イオン結晶の性質である「硬くてもろい」について分子のモデル図を用いて考察している。 ・さまざまな化学式を電子式や構造式を用いて正しく表現できる。 ・分子の構造について、共有電子対や非共有電子対の観点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子の構造と元素の周期表について，学習した用語どうしのつながりを自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	第Ⅱ章　物質の変化 第1節　物質量と化学反応式 【知識及び技能】 　日常生活や社会との関連を図りながら，物質量と化学反応式について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量と化学反応式についての観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質量と化学反応式について主体的に関わり，見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	・原子量・分子量・式量の成り立ちとその表現方法について理解する。 ・物質量と粒子の関係を理解する。 ・物質量と質量の関係を理解する。 ・物質量と気体の体積の関係を理解する。 物質量から粒子の個数、質量、その気体の体積をそれぞれ求める。	【知識・技能】 ・物質量を粒子の数（アボガドロ定数）や質量・気体の体積から求めることができる。 ・原子量は各原子の相対質量に天然存在比を考慮したものであると理解している。 ・気体の密度や構成分子の存在比等から気体の平均分子量を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・原子量・相対質量・分子量・式量・質量の５つの量について説明できる。 ・日常的に数えられる米粒や小豆、大豆等を数える実験を通してアボガドロ定数を見出す。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質量について，学習した用語どうしのつながりや公式・解法等を自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第Ⅱ章　物質の変化 第1節　物質量と化学反応式 【知識及び技能】 　日常生活や社会との関連を図りながら，物質量と化学反応式について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量と化学反応式についての観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質量と化学反応式について主体的に関わり，見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	・溶解と濃度について整理し、質量パーセント濃度とモル濃度について理解する。 ・化学反応式の作り方を理解し、多くの化学反応式を作成する。 ・未定係数法によって複雑な化学反応式の係数を決定する。 ・イオン反応式と化学反応式の違いを説明する。 ・化学反応と量的関係について理解し、多くの物質の質量や物質量を求める。 ・化学反応と量的関係に関する実験を行い、実測値から物質量を特定する。 ・化学変化における諸法則の成り立ちや内容を理解する。	【知識・技能】 ・化学反応式の作り方について理解している。 ・モル濃度や質量パーセント濃度を理解し、公式を用いて算出することができる。 ・化学反応式を用いて過不足なく反応させるなど、定量的な概念を理解している。 ・化学反応の諸法則の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・マグネシウムと塩酸の量的関係に関する実験を通して発生した気体の水素の量を測定することで実際に反応に用いられたマグネシウムの物質量を正しく算出できる。また、気体の水素の物質量とマグネシウムの物質量の関係が化学反応式における係数の比に一致していることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学反応式や化学反応と量的関係について，学習した用語どうしのつながりや公式・解答等を自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第Ⅱ章　物質の変化 第2節　酸と塩基の反応 【知識及び技能】 　日常生活や社会との関連を図りながら，酸と塩基の反応について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基の反応についての観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸と塩基の反応について主体的に関わり，見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	・酸と塩基の定義をそれぞれ理解し、各定義に対応した酸と塩基を分類する。 ・酸と塩基の価数について理解し、2価以上の酸や塩基の電離の式を表現する。 ・強酸と弱酸、強塩基と弱塩基について整理する。 ・電離度について理解し、電離度を求める式から水素イオン濃度を求める式に変換する。 ・電離度と濃度の関係性について説明する。 ・水素イオン濃度からpHを求める。 ・中和と塩について理解し、塩の分類及びその液性を化学式から判断する。 日常的に用いるお酢を用いた中和滴定を実験によって体験し、中和の関係式及び中和滴定曲線について理解するとともに中和の量的関係について考察する。	【知識・技能】 ・酸と塩基の定義に基づいて酸と塩基を決定できる。 酸や塩基の価数や強弱について理解している。 ・電離度の関係式から水素イオン濃度及びpHを算出することができる。 ・中和と塩について理解し、塩を分類やその液性を正しく導くことができる。 ・中和の関係式を適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 ・化学式及び酸や塩基の電離の式より酸や塩基の価数や酸や塩基の強弱が判断できる。 ・中和滴定の実験を通して、中和の量的関係について考察するとともに中和滴定曲線について正しく表現できる。 ・中和滴定における指示薬を適切に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸と塩基の反応について，学習した用語どうしのつながりや公式・解法等を自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　理科　科目　生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組

教科担当者：　(A組:市川典央　)　(B組：市川典央　)　(C組：市川典央　)　(D組：市川典央　)　(E組：市川典央　)　(F組：市川典央　)

使用教科書：　(　東京書籍「生物基礎」（生基701）　)

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】　自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目　生物基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養うとともに，論理的に考え科学的な見方・考え方を用いて表現することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1　生物の特徴 (1)　生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴について理解するとともに、それらの観察,実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察,実験などを通して探究し多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物とエネルギーに関する事物,現象に進んで関わり、見通しをもち振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・地球上に多様な種がみられるのはなぜか考える。 ・相同器官を比較し、共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことを見いだす。 ・光学顕微鏡の各部の名称とはたらき、ミクロメーターの使い方と細胞 の大きさの測定方法について理解する。 ・顕微鏡を用いてヒトロ腔内上皮，タマネギの表皮、オオカナダモの際細胞のスケッチを行う。 ・観察結果を比較し、生物のもつ共通性について考察する。 ・原核細胞と真核細胞の構成成分を比較し、異なる理由を考える。 ・単細胞生物と多細胞生物について理解する。 ・ATPが呼吸や光合成などの生体内でのエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 ・酵素の基本的な特徴を理解する。 ・酵素の基質特異性が何によってもたらされているのかについて理解する。 ・呼吸、光合成におけるグルコースの合成反応の概要とATPの合成について理解する。	【知識・技能】 ・生物は多様でありながらも共通する性質があ　ることを見いだして理解する。 ・生物の共通性と起源の共有を関連付け，その　共通性は共通の起源に由来することを理解する。 ・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解させる。 ・全ての生物は光合成や呼吸などの過程でATP を合成していることを理解させる。 ・酵素の種類によって特定の物質にのみ作用すること（基質特異性）を理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察、実験の結果や資料などを分析、解釈し、生物は多様だが共通性も持っていることを見いだす。 ・生命活動はエネルギーを用いていることを，日常生活と関連付けて考察している。動物のエネルギーの獲得方法を植物の取り入れ方と対比して考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の特徴及び代謝について，学習した用語どうしのつながりを自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	1　生物の特徴 (2)　遺伝子とその働き 【知識及び技能】 遺伝子とその働きについて理解するとともに、それらの観察,実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて、観察，実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とその働きに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命の神秘をミクロの視点から捉えようとする態度を養う	・遺伝子の本体はDNAであることを理解する。 ・DNAの二重らせん構造の特徴を理解する。 ・DNAの複製が二回起こるとどうなるかを，図で表して説明する。 ・アミノ酸の種類と並び方によって，多様なタンパク質が生じることを問題演習を通して理解する。 ・RNAとDNAの特徴の違いを理解する。 ・転写及び翻訳の過程について理解する。 ・細胞周期には間期と分裂期があり，DNAの複製はS期に起こることを理解する。	【知識・技能】 ・遺伝情報の発現に関する資料に基づいて，DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を見いだして理解させる。 ・転写・翻訳について、DNA の塩基配列から mRNA の塩基配列、さらにtRNA を介してアミノ酸配列へという情報の流れを理解する。 【思考・判断・表現】 ・DNAの塩基配列と，それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から，DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。 ・DNAの特徴及び遺伝情報について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの構造や遺伝子の働きについて，科学的に探究しようとし、学習した用語どうしのつながりを自身で整理し，客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	2　ヒトの体の調節 (1)　神経系と内分泌系による調節 【知識及び技能】 　ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節を理解するとともに、それらの観察，実験などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、考察などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の伝達や体内環境維持、血糖値のホルモンによる調節など関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重する態度を養う。	・体内環境と体液の関係について理解する。 ・体内環境の維持と自律神経系による調節を関連付けて理解する。 ・交感神経と副交感神経の違いについて神経伝達物質の違いに着目して理解を深める。 ・ホルモンが細胞に受容され，機能するしくみについて理解を深める。 ・脳死をめぐる見解について，さまざまな立場の人の意見を調べ，自分の考えを深める。 ・血糖濃度の調節機構による体内環境の維持とホルモンの関係について見いだして理解する。 ・ここまでに学習した用語を使って，血糖濃度の調節のしくみを図で整理する。 ・インスリンと糖尿病の関係について理解する。	【知識・技能】 ・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ・神経系は中枢神経系と末梢神経系に分けられることと，末梢神経系の一つである自律神経系は意識とは無関係に働くことを理解する。 ・脳死について，自律神経系の中枢としての脳幹の働きと関連して触れる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。 ・血糖濃度の調節にかかわるホルモンの種類と，それぞれのはたらきについて理解する ・また、体内環境の維持を自律神経と関連付け、ホルモンと自律神経の働きによって体内環境が維持されていることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体内での情報の伝達と体の調節について，日常生活と関連付けて説明しようとしている。脳死について，さまざまな立場の人の意見を理解し，自分の考えを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達や体内環境維持、血糖値のホルモンによる調節などに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	2　ヒトの体の調節 (2)　免疫 【知識及び技能】 免疫について、免疫の働きのことを理解するとともに、それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫のしくみについて、考察などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫の働きに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命の尊重に寄与する態度を養う。	・風邪の症状を考える。 ・自然免疫について分類や特性を理解する。 ・体内環境の維持の観点から血液凝固について理解する。 ・免疫のしくみについて俯瞰的に整理して理解する。 ・予防接種の仕組みと免疫記憶、二次応答について、新型コロナウイルスの視点から理解する。 ・花粉症発症のしくみを例にアレルギーの発症について理解を深める。 ・AIDSを例に免疫機能の低下による疾患について理解する。	【知識・技能】 ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防　御機構が備わっていることを見いだして理解する。 ・免疫記憶と二次応答について理解する。 ・アレルギー，自己免疫疾患，AIDSなどの疾患のメカニズムを理解する。 【思考・判断・表現】 ・免疫の働きについて、問題を見いだし見通しをもって考察を行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に学習に取り組む態度 免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3学期	3　生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系において、植生と遷移及び生態系とその保全について理解するとともに、それらの観察などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 植生と遷移、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・植物の種類によって、生存・成長に必要な光の量や成長速度が異なることを問題を通して理解する。 ・植生の状態は光条件や土壌に含まれる養分などに関係し、長期的に遷移していくことを問題を通して理解する。 ・気候と降水量の違いによって、様々なバイオームが形成されていることを理解する。 ・生態系は常に変動しているが、変動の幅は一定の範囲内に保たれていることを理解する。 ・生態系は常に変動しているが、変動の幅は一定の範囲内に保たれていることを理解する。 ・物質の循環と共にエネルギーが移動するが、エネルギーは循環しないことを図の整理を通して理解する。 ・人間は生態系から多くの恩恵を受けているが、人間の活動により、かく乱され多様性が損なわれている事を理解する。	【知識・技能】 ・生態系には多様な生物種が存在することを見いだして理解する。 ・生物の種多様性と生物間の相互関係を関連付けて理解する。 ・植生は、光条件や土壌に含まれる養分などに関係し、長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解させるとともに，生態系の保全の重要性を認識する。 【思考・判断・表現】 ・生態系における，生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。 ・植生が移り変わる理由を光条件や土壌を基に考え、長期的な視点で遷移の様子が書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 植生と遷移、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　芸術　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　A 組～　G 組

教科担当者：　(A組：島田　)（B組：島田　）（C組：島田　）（D組：島田　）（E組：島田　）（F組：島田　）

使用教科書：　(　ON!1(音楽之友社)　　)

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術を表現したり鑑賞したりする際に必要な知識を習得するとともに、多様な作品についてそれぞれの思いや意図に基づいた表現が出来るための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な様式の音楽作品について理解を深める。 ・音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を養う。 ・読譜能力を高め、音楽理論について理解する。	・感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値観等を考えたりする。	・音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。 ・我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを一層味わえる力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 愛唱歌を歌う 【知識及び技能】 ・音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解するとともに、曲にふさわしい発声や言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽の諸要素について、知覚したり感受したりしたことを総合的に考え、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	・指導事項 （ア）歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫させる。 （イ）曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。 （ウ）言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解させる。 （エ）曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけさせる。 （オ）他者との調和を意識して歌う技能を身につけさせる。 ・教材 「翼をください」 「花は咲く」 「おおシャンゼリゼ」 「校歌」	○			○	【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、他者との長和を意識して歌う能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・音楽の諸要素について、知覚したり感受したりしたことを総合的に考え、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造との関りに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱表現に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	Bアルトリコーダーに親しむ 【知識及び技能】 ・アルトリコーダーを演奏するための最低限の技能を身に付け、曲想を活かすための技法の効果を理解する。 ・英語音名による読譜に慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楽曲の構成や諸技法の音楽的効果を考えながら表現を工夫するとともに、表現の中で学んだ諸技法とその効果に注意しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想を生かした技法や楽器の特性との関わりに関心をもち、主体的に表現や鑑賞に取り組むとともに、リコーダーの音色の美しさを味わう。	・指導事項 （ア）リコーダー表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってリコーダー表現を創意工夫させる。 （イ）曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解させる。 （ウ）曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けさせる。 ・教材 「カノン」 「ドレミの歌」		○		○	【知識・技能】 ・アルトリコーダーを演奏するための最低限の技能を身に付け、曲想を活かすための技法の効果を理解している。 ・英語音名について理解し、英語音名で楽譜を読むことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくっている旋律やテクスチュア、楽曲の構成や各技法による音色を知覚し、それらの働きを感受するとともに、それらの関わりを考えながら、その効果を生かした表現を工夫している。 ・音楽を形づくっている旋律やテクスチュア、楽曲の構成や各技法による音色を知覚し、それらの働きを感受するとともに、それらの関わりを考えながら聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞を通して、学んだリコーダーの技法やその表現上の効果を聴き取ろうとしている。	○	○	○	8
	Cリズムアンサンブルの楽しさを味わう 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫をしてリズムアンサンブルにふさわしい音楽表現をできる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各パートのリズムや強弱を知覚し、お互いのかかわりについて考え、そこから感受したことをふまえて、表現意図をもつとともに面白さ・良さを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むことでアンサンブルの楽しさを味わう。	・指導事項 （ア）アンサンブル表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってアンサンブル表現を創意工夫させる。 （イ）反復・変化・対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身につけさせる。 （ウ）主体的・協働的に取り組ませ、アンサンブルの楽しさを味わわせる。 ・教材 「Beat Canon」 「野菜の気持ち」			○		【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫をしてリズムアンサンブルにふさわしい音楽表現をできる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各パートのリズム・テンポ・強弱・反復等の関係性が重要であることを理解し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、アンサンブルとして合わせることへの表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アンサンブル活動がもつ楽しさや、アンサンブル技能の向上に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8

2学期	D ミュージカルに親しむ 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わり、登場人物の歌う様々なナンバーの表現形態の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、登場人物の心情を捉えて、イメージをもって歌唱表現に創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ミュージカルに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	・指導事項 （ア）歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫させる。 （イ）曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。 （ウ）曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけさせる。 ・教材 「ウエストサイドストーリー」より「Tonight」 「アラジン」より「A Whole New World」	○			○	【知識・技能】 ・曲想と物語の特徴と登場人物との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために楽曲にふさわしい発声・発音などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、物語の登場人物のイメージをもって歌唱表現に創意工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生徒自らがミュージカルに興味・関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	Eアルトリコーダー２重奏 【知識及び技能】 ・旋律とベース音の関係について理解し、お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付ける。 ・パートナーソングについてその構造を理解し、お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付ける。 ・英語音名による読譜に慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楽曲の構成による音楽的効果を考えながら表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間と主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 （ア）旋律とベース音の関係について理解させる。 （イ）パートナーソングについてその音楽的構造を理解させる。 （ウ）お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付けさせる。 （エ）英語音名による読譜に慣れさせる。 （オ）仲間と主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組ませる。 ・教材 「少年時代」 「チェリー」 「小さな世界」	○				【知識・技能】 ・旋律とベース音の関係について理解し、お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付けている。 ・パートナーソングについてその構造を理解し、お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付けている。 ・英語音名について理解し、楽譜を読むことが出来る。 【思考・判断・表現】 ・楽曲の構成による音楽的効果を考えながら表現を工夫することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間と主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	Fアルトリコーダー２重奏 【知識及び技能】 ・管弦楽の編成について学ぶ。 ・交響詩について学ぶとともにゲーテの「魔法使いの弟子」のあらすじを理解する。 ・曲想と音楽の構造から、原作のあらすじとの関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・旋律やテンポの変化との関連を味わって鑑賞する。 ・主要テーマと全音音階による同テーマの違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・管弦楽の表現力の豊かさと楽器の音色の多様性に関心をもつ。 ・音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を養う。	・指導事項 （ア）鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。 （イ）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りを理解させる。 （ウ）音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えさせる。 ・教材 交響詩「魔法使いの弟子」他				○	【知識・技能】 ・管弦楽の編成について理解している。 ・交響詩について学ぶとともにゲーテの「魔法使いの弟子」のあらすじを理解している。 ・曲想と音楽の構造から、原作のあらすじとの関わりを理解している。 【思考・判断・表現】 ・主要テーマ及び、そこから発展していく３拍子の躍動感を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと関わりについて考えるとともに、オーケストレーションの多様性や、度重なるテンポの変化が物語の進行と密接に関連していることについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・管弦楽の豊かな表現力と色彩の豊かさと、フランス近現代音楽の音響に関心を持ち、主体的・共同的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
3学期	Gヨーロッパの歌 【知識及び技能】 ・イタリア語やドイツ語の発音の特徴を捉えて、リズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解し、歌う。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌唱表現するか自分なりの考えをもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヨーロッパの歌について関心を持ち、それぞれの楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組む。	・指導事項 （ア）イタリア語やドイツ語の発音の特徴を理解させる。 （イ）言葉（歌詞）のリズムと旋律の関わりについて理解させる。 （ウ）歌詞の内容、曲想を理解させ、楽曲に合わせた表現を考えさせる。 ・教材 「野ばら」（シューベルト、ウェルナー） 「O Sole mio」他	○			○	【知識・技能】 ・イタリア語やドイツ語の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヨーロッパの歌について関心を持ち、それぞれの楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	Hギターに親しむ 【知識及び技能】 ・楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につける。 ・曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色やコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて自分なりに考えながら表現する。 【学びに向かう力、表現力等】 ・ギターの独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	・指導事項 （ア）楽典の初歩として音階とダイヤグラムについて指導する。 （イ）ギターの楽曲に親しみをもたせ、ギターを弾くことに興味をもたせる。 （ウ）コード表から簡単な和音（コード）を弾けるようにさせる。 ・教材 音階練習プリント 「アニーローリー」 「Good Morning To All」		○		○	【知識・技能】 ・楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。 ・曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色やコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、表現力等】 ・ギターの独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6 合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　芸術科　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術科　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A 組～　F 組

教科担当者：　（ AB組：阿部 ）　（ CD組：阿部 ）　（ EF組：阿部 ）

使用教科書：　（ なし　）

教科　芸術科　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　校内をスケッチしよう（絵画） 【知識及び技能】 ・建物内の造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 ・鉛筆の使い方を理解し、効果的にその特性を活かし、表す。 ・スケッチという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことからスケッチをする対象を生成し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に校内の風景を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景像などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	・指導事項 ○美術室内、校内の描きたい場所を自身で決め、スケッチする ・教材 鉛筆、スケッチブック、Dスケール、練りゴム ・一人１台端末の活用　等 ○出来上がった作品をTeamsにアップロードする	○			○	【知識及び技能】 ・建物内の造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・鉛筆の使い方を理解し、効果的にその特性を活かし、表している。 ・スケッチという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことからスケッチをする対象を生成し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に校内の風景を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景像などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	A　心の窓を描こう（絵画） 【知識及び技能】 ・色彩・質感（マチエール）などの造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 ・アクリル絵の具を理解し、効果的にその特性を活かし、表す。 ・アクリル絵画という表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図や質感などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象絵画を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい内面の世界などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	・指導事項 ○アクリル絵の具を用いて、スクエアの木製パネルに毎時間、自分の心の変容を描いていく。 ・パネル研磨、ジェッソ下地作り ・色彩で表現 ・メディウムで変化をつける ・削る・彫る・磨く・塗り重ねる ・自由に組み合わせる ・展示作業 ・教材 パネル、アクリル絵の具、ジェッソ、メディウム、彫刻刀 ・一人１台端末の活用　等 ○毎時間撮影した作品の画像をPowerpointにまとめ、その変容や心の動きを読みとる。 ○作品の鑑賞を行い、意見交換をしながら表現の視野を拡げる	○			○	【知識及び技能】 ・色彩・質感（マチエール）などの造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・アクリル絵の具を理解し、効果的にその特性を活かし、表している。 ・アクリル絵画という表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図や質感などを考え創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象絵画を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい内面の世界などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				22

2学期	A ステンドグラスをつくろう（デザイン） 【知識及び技能】 ・色彩・構図・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 ・トランスパレントの素材感を理解し、その特性を活かし、効果的に表す。 ・ステンドグラスという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にステンドグラスを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい世界観などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	・指導事項 〇ステンドグラスのデザインを考える 〇カッティング技法の習得をする 〇トランスパレントを用い、色の混色について学び、デザインにいかす ・教材 トランスパレント、カッティングナイフ、カッター、はさみ、のり、黒画用紙、ラミネーター ・一人１台端末の活用　等 〇Teamsや作品の鑑賞を行い、意見交換をしながら表現の視野を拡げる		○			A ステンドグラスをつくろう（デザイン） 【知識及び技能】 ・色彩・構図・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・トランスパレントの素材感を理解し、その特性を活かし、効果的に表している。 ・ステンドグラスという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図などを考え創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にステンドグラスを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい世界観などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	○	○	○	28
3学期	A Shop　Produce～オリジナルのお店をつくろう（デザイン） 【知識及び技能】 ・自身の企画したお店の目的を考え、意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現方法を追求して創造的に表す。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性を考え創造的な表現の構想を練る。 ・SHOPデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にお店の企画を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に企画したお店企画のよさや美しさを感じ取り、制作者の表したい商品の美的価値などについて考え、見方や感じ方を深め、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	・指導事項 〇グループ共同でオリジナルお店の企画を行う ① お店のアイデアだし ② ロゴデザイン ③ ＷＥＢデザイン ④ サンプル商品 ⑤企画のプレゼンテーションを行う ・教材 画用紙、ペン、色鉛筆、アクリル絵の具、樹脂粘土　Adobe Express ・一人１台端末の活用　等 〇Adobe Expressを活用し、ロゴデザイン、WEBデザインを行う 〇Teamsや作品を用いてプレゼンテーションを行う。中間講評や最終プレゼンテーションを通して、意見交換をしながらデザインの質を向上させる。		○	○	○	A Shop　Produce～オリジナルのお店をつくろう（デザイン） 【知識及び技能】 ・お店のロゴやWEBデザインの色彩、構図などの性質や、それらが消費者に対して与える効果などを理解している。 ・お店企画の目的や機能を考え、意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性を考え創造的な表現の構想を練っている。 ・SHOPデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にお店の企画を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に企画したお店企画のよさや美しさを感じ取り、制作者の表したい商品の美的価値などについて考え、見方や感じ方を深め、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				16
											合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　芸術　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　F　組

教科担当者：　（A～F組：中野　）

使用教科書：　（　書道Ⅰ（東京書籍）　）

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】　芸術科書道として、書体の成立および変遷により、現在使われている文字がどのように出来たのかを理解し、毛筆の特性である弾力性を活かした書写能力を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　課題となる古典（過去のすぐれた作品）を見て、特徴や注意点を見つける鑑賞力を高め、その特徴などを表現するには筆をどう扱い動かせばよいかを考え、的確に表現する（書く）能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　書を学習して身につくものの一つに集中力がある。作品をまとめていく過程では集中力は非常に大切な要素となる。また、一点だけを見るのではなく、全体を見ながら作品と向き合っていき、上手く書けない部分（問題）を修正（改善）する力を身につけていく。それが日常生活に活かされるように。

科目　書道Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書体の成立、変遷により、現在使われている文字がどのように出来たのかを理解し、毛筆の特性である弾力性を活かした筆使いを身に付け、楷書・行書や隷書、仮名の特徴を理解して、各書体の基本的用筆を習得するようにする。	楷書の代表的な古典を比較し、同じ楷書といっても各作品により特徴があることを発見する鑑賞力の重要性を理解していく。その鑑賞のポイントとなる線質の曲直・細太等に着目し、特徴や注意点を整理して表現する力を養う。行書・楷書についても同様。仮名は小筆を使うため、小筆の基本的な扱い方を習得して基礎を身につけていく。	文字や書体成立の歴史を理解して、文字の大切さを改めて認識する。 作品をまとめていく上で、途中で投げ出さず最後まで課題と向き合い、修正点や改善点を見つけ、やりとげる力を養い、物事に向き合うときの集中力を身に付けるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・文字を正しく整えて速く書くことに主眼を置いて学習してきた中学漢字について確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・参考見本を見て注意点はどこなのかを考え表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が書いた作品を見て、見本と比較し、修正点、改善点を見つけてまとめていくこと。	・指導内容 （ア）文字を正しく整えて速く書くという中学漢字について確認する。 （イ）参考見本を見て、注意点はどこなのかを考え表現する。 （ウ）自分が書いた作品を見て、見本と比較し、修正点、改善点を見つけてまとめていく。うまく進められない生徒にはこちらから助言を与える。 ・教材 教科書・参考プリント	○			○	【知識・技能】 ・文字を正しく整えるために課題のどこを注意してみているか。 ・姿勢や筆の扱い方はどうか。 【思考・判断・表現】 ・注意点を見つけ、全体を見て考えながら半紙にまとめているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分が書いた作品と見本を比較しながら修正点を見つけてまとめていくことが出来るか。	○	○	○	2
	B漢字の書（楷書） 【知識及び技能】 ・用具用材の特性を生かし、効果的に使えること。 ・姿勢・執筆法を理解し、正しく筆を扱えること。 ・漢字の成立と変遷を理解すること。 ・毛筆の弾力性を理解し、それを使うこと。 ・代表古典、作者を押さえて各作品の特徴を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品を鑑賞し、どのような特徴があるか、他の作品と比較すると違いはあるのか等の鑑賞力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の特徴を表現するためには、どこに注意し、自分の作品のどこを修正していけば良いのか、見比べる集中力を養う。	・指導内容 （ア）用具の中での筆と半紙の特性には気を付けて使えるようにする。 （イ）正しく構え、筆を使う重要性を理解させる。 （ウ）書体の歴史を年表を使いながら理解させていく。 （エ）毛筆だけが持つ弾力性を利用し、使えるようにする。 （オ）作者により特徴（癖）があること、同じ作者でも時期により特徴が変わることがあることを理解する。 （カ）鑑賞のポイントを理解し、そのポイントに作品を当てはめて特徴を見つけられるようにする。 （キ）自分の作品と参考見本を比べ、何を修正すれば良いかを見つけられるようにする。 ・教材 教科書（九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序、自書告身、唐の四大家） 参考プリント		○		○	【知識・技能】 ・用具の配置を正しく使えているか。 ・姿勢正し半紙に向き合えているか。 ・書体の歴史を理解できているか。 ・毛筆特有の弾力性をうまく使えているか。 【思考・判断・表現】 ・作品の特徴を理解し、自分の作品に生かせるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・書き続けるだけではなく、書いた作品を見本と比較して修正出来ているか。また、修正点等がわからない時は添削や助言を積極的に求めているか。	○	○	○	20
	授業内実技テスト			○				○	○		2

2学期	文化祭作品							○			2
	C 漢字の書（行書） 【知識及び技能】 ・行書成立の過程を理解すること。 ・行書の特徴を理解し習得すること。 ・代表古典、作者を押さえて各作品の特徴を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品を鑑賞し、どのような特徴があるか、他の作品と比較すると違いはあるのか等の鑑賞力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の特徴を表現するためには、どこに注意し、自分の作品のどこを修正していけば良いのか、見比べ発見する集中力を高める。	・指導内容 （ア）行書成立の過程を年表等を使い、理解すること。 （イ）行書の特徴を成立過程から理解し、習得すること。 （ウ）代表古典、作者を押さえて各作品の特徴を理解すること。 （エ）古典作品を鑑賞し、どのような特徴があるか、他の作品と比較すると違いはあるのか等を時代背景も考えていくようにする。 （オ）自分の作品に特徴が表現出来ているか参考見本と比べ、修正点、改善点を発見出来るよう細部まで鑑賞するよう指導する。 ・教材 教科書（蘭亭序、争坐位文稿、風信帖、王羲之、三筆と三跡） 参考プリント		○		○	【知識・技能】 ・行書成立の過程を理解している。 ・行書の特徴を理解し習得している。 ・代表古典、作者を押さえて各作品の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古典作品を鑑賞し、どのような特徴があるか、他の作品と比較すると違いはあるのかを時代背景も含め考えられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の作品に特徴が表現出来ているか参考見本と比べ、修正点、改善点を発見出来るか。また、それがわからない時は添削や助言を積極的に求められるか。	○	○	○	14
	D 漢字の書（隷書） 【知識及び技能】 ・隷書成立の過程を理解すること。 ・隷書の特徴を理解し経験すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・特徴を理解する上で既に学習した楷書・行書と関連付けて考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・隷書の特徴を表現するためには、筆の細やかな使い方が必要になる。その使い方に根気よく向かい合う集中力を高める。	・指導内容 （ア）隷書成立の過程を年表等を使い、理解すること。 （イ）隷書の特徴を成立過程から理解し、経験すること。 （ウ）特徴を理解する上で既に学習した楷書・行書と関連付けて考えられるようにする。 （エ）筆の細やかな使い方に根気強く向かい合えるようにする。 ・教材 教科書・参考プリント		○		○	【知識・技能】 ・隷書成立の過程を理解している。 ・隷書の特徴を理解し、書けている。 【思考・判断・表現】 ・特徴を理解する上で既に学習した楷書・行書と関連付けて考えられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆の細やかな使い方を繰り返し練習し、上手く出来ない時に添削や助言を求められるか。	○	○	○	6
	E 書き初め作品 【知識及び技能】 ・漢字五体（楷・行・草・隷・篆）の基本用筆を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用筆を理解した上で、自分の好きな書体を選び、書風を決め表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら決めた書体・書風で良いか、変更するか、客観的に見る力、修正点・改善点を見つけ出し、直していく集中力を養う。	・指導内容 （ア）参考見本を使い、五体の用筆、注意点を理解させる。 （イ）字典を使い、各書体の様々な形を調べ、自分に合う書体・書風を決める。 （ウ）書いた作品を鑑賞し、自分に合っているかどうか、合っているならば修正点はどこか、合っていないならば、どのように変更していくか助言を与えながら考えさせる。 ・教材 五体字類 参考見本・プリント		○		○	【知識・技能】 ・五体の用筆等を理解出来たか。また、それを表現出来たか。 【思考・判断・表現】 ・人の真似ではなく、自分で書体・書風を決められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・書いた作品を見ての判断力、修正力を発揮しているか。あるいは、添削や助言を受けて改善出来たか。	○	○	○	4
	授業内実技テスト			○				○	○		2
3学期	F 仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の成立と種類を理解すること。 ・小筆の執筆法を理解し、扱えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の字源を考えて、仮名を書く時の運筆のリズムを判断し、書けるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名は元は漢字の当て字から始まり、日本独自の文字として成立したことを忘れずに、平仮名を大切にする心を養い、丁寧に書けるようにする。	・指導内容 （ア）仮名の成立を変遷順に理解していく。 （イ）小筆と大筆の違いを理解させ、小筆の扱い方を習得させる。 （ウ）仮名の字源を踏まえて、運筆のリズムを理解して書けるようにする。 （エ）漢字は中国で長い年月を経て成立してきたのと同様に、仮名は漢字が日本に伝来し、当て字として日本語を表記しながら現在の平仮名になったことを理解させ、文字を大切にする心を養う。 ・教材 教科書・参考プリント			○	○	【知識・技能】 ・仮名の成立を理解出来たか。 ・小筆の執筆法を理解し、習得出来たか。 【思考・判断・表現】 ・仮名の元の漢字を考えて、リズム良く書けたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の筆記と違い、仮名文字の字源を意識しながら、リズム重視で集中して書くことが出来たか。	○	○	○	14
	授業内筆記テスト		○	○	○	○		○	○		2
	授業内実技テスト				○			○	○		2 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　外国語　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ　組～　Ｆ　組

教科担当者：　（ A組：河西 ）　（ B組：河西 ）　（ C組：岸谷 ）　（ D組：岸谷 ）　（ E組：池田 ）　（ F組：池田 ）

使用教科書：　（ 第一学習社　CREATIVE English Communication Ⅰ　）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】　外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】　日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う

科目　英語コミュニケーションⅠ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞く事、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手。話し手、書きてに配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［やり］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson1 to-不定詞，動名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・to-不定詞，動名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・日本語と英語の語順の違いに注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して，わかりやすく「目標達成シート」を書こうとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 日英の語順の違いを理解し，その知識を活用して，大谷選手に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項や日英の語順の違いを理解し，その知識を活用して，大谷選手に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [[話すこと（やり取り）]] 日英の語順の違いの知識を活用して，Part 2～4の大谷選手のメッセージとActivity Plusの3人のメッセージの内容を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 日英の語順の違いの知識を活用して，大谷選手に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 日英の語順の違いや英語のウェブサイトの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，自分の「目標達成シート」を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 大谷選手に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 大谷選手に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [[話すこと（やり取り）]] Part 2～4の大谷選手のメッセージとActivity Plusの3人のメッセージの内容を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 大谷選手に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと]題材内容に関連した自分の考えや，自分の「目標達成シート」を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に大谷選手に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に大谷選手に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [[話すこと（やり取り）]] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 2～4の大谷選手のメッセージとActivity Plusの3人のメッセージの内容を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に大谷選手に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，自分の「目標達成シート」を書いて伝えようとしている。	○	○	○	10

1学期	Lesson2 現在完了形，分詞の形容詞用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 日本および世界の「弁当文化」について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 Q&Aサイトなどに投稿する場合の注意点を理解し，読み手に配慮して，わかりやすく投稿文を書こうとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・日本および世界の「弁当文化」について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，コンテストに応募することを想定した弁当について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・現在完了形，分詞の形容詞用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・英語のリズムやイントネーションに注意して，英文を音読することができる。 ＜場面・状況など＞ ・Q&Aサイトなどに投稿する場合の注意点を理解し，読み手に配慮して，わかりやすく投稿文を書こうとしている。 ・聞き手に配慮して，コンテストに応募することを想定した弁当についてわかりやすく説明しようとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 英語のリズムやイントネーションを理解し，その知識を活用して，弁当に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項などを理解し，その知識を活用して，弁当に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 話すこと（やり取り） 英語のリズムやイントネーションの知識を活用して，Part 1で紹介された弁当とPart 4で紹介されたキャラ弁を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 英語のリズムやイントネーションの知識を活用して，弁当に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のQ&Aサイトの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，自分の理想の弁当の説明を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 弁当に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 弁当に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 話すこと（やり取り） Part 1で紹介された弁当とPart 4で紹介されたキャラ弁を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 弁当に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，自分の理想の弁当の説明を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に弁当に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に弁当に関する題材内容を読み取ろうとしている。 話すこと（やり取り） 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 1で紹介された弁当とPart 4で紹介されたキャラ弁を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に弁当に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，自分の理想の弁当の説明を書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○			○		○	○		1

1学期	Lesson3 現在完了進行形，関係代名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 携帯電話の発展について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し，聞き手に配慮して，わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・携帯電話の発展について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，未来の携帯電話を想像し，それについてプレゼンテーションをすることができる。 ＜文型・文法事項＞ ・現在完了進行形，関係代名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・意味のまとまりに注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し，聞き手に配慮して，わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 英語の意味のまとまりを理解し，その知識を活用して，携帯電話に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 英語の意味のまとまりや文法事項などを理解し，その知識を活用して，携帯電話に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] 英語の意味のまとまりの知識を活用して，Part 4で紹介された未来の携帯電話とActivity Plusで紹介された未来の携帯電話を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 英語の意味のまとまりの知識を活用して，携帯電話に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のプレゼンテーションの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，未来の携帯電話のプレゼンテーションのアウトラインを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 携帯電話に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 携帯電話に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 4で紹介された未来の携帯電話とActivity Plusで紹介された未来の携帯電話を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 携帯電話に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，未来の携帯電話のプレゼンテーションのアウトラインを書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に携帯電話に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に携帯電話に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 4で紹介された未来の携帯電話とActivity Plusで紹介された未来の携帯電話を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に携帯電話に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，未来の携帯電話のプレゼンテーションのアウトラインを書いて伝えようとしている。	○	○	○	10

1学期	Lesson4 助動詞＋be＋過去分詞，It seems that…について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 絶滅危惧種の保護のあり方について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ポスターの構成や作成方法を理解し，聞き手や読み手に配慮して，わかりやすくポスターを作成し，それを説明しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・絶滅危惧種の保護のあり方について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り，それを説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・助動詞＋be＋過去分詞，It seems that…について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・ディスコースマーカーに注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ポスターの構成や作成方法を理解し，聞き手や読み手に配慮して，わかりやすくポスターを作成し，それを説明しようとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] ディスコースマーカーを理解し，その知識を活用して，絶滅危惧種に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] ディスコースマーカーや文法事項などを理解し，その知識を活用して，絶滅危惧種に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] ディスコースマーカーの知識を活用して，Part 1で紹介されたパンダとActivity Plusで紹介されたホッキョクグマを比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] ディスコースマーカーの知識を活用して，絶滅危惧種に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のポスターの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，絶滅危惧種に関するポスターを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 絶滅危惧種に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 絶滅危惧種に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 1で紹介されたパンダとActivity Plusで紹介されたホッキョクグマを比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] ホッキョクグマに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，絶滅危惧種に関するポスターを書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に絶滅危惧種に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に絶滅危惧種に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 1で紹介されたパンダとActivity Plusで紹介されたホッキョクグマを比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に絶滅危惧種に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，絶滅危惧種に関するポスターを書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○			○		○	○		1

2学期	Lesson5 『おさるのジョージ』の作者の人生について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 知覚動詞・使役動詞＋O＋C（＝原形不定詞），関係代名詞whatについて理解を深め，これらを適切に活用することができる。 インタビューにおける注意点を理解しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・『おさるのジョージ』の作者の人生について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・知覚動詞・使役動詞＋O＋C（＝原型不定詞），関係代名詞whatについて理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・英語の音の変化に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく好きなマンガ・アニメとその理由を説明しようとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 英語の音の変化を理解し，その知識を活用して，『おさるのジョージ』に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項などを理解し，その知識を活用して，『おさるのジョージ』に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] 英語の音の変化の知識を活用して，Part 2～4で紹介された『おさるのジョージ』の原作者とActivity Plusで紹介された映画監督のインタビューを比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 英語の音の変化の知識を活用して，『おさるのジョージ』に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のインタビューの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，自分の好きなマンガ・アニメに関する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 『おさるのジョージ』に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 『おさるのジョージ』に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 2～4で紹介された『おさるのジョージ』の原作者とActivity Plusで紹介された映画監督のインタビューを比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 『おさるのジョージ』に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，自分の好きなマンガ・アニメに関する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に『おさるのジョージ』に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に『おさるのジョージ』に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 2～4で紹介された『おさるのジョージ』の原作者とActivity Plusで紹介された映画監督のインタビューを比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に『おさるのジョージ』に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，自分の好きなマンガ・アニメに関する英文を書いて伝えようとしている。	○	○	○	10

2学期	Lesson6 過去完了形・過去完了進行形，S＋V＋O（＋O）（＝疑問詞節）について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ポスタープレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，幸福を感じるときについて説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・過去完了形・過去完了進行形，S＋V＋O（＋O）（＝疑問詞節）について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・考えや意図をうまく伝えるための表現に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ポスタープレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく幸福を感じるときについて説明しようとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] ここまでに学習した内容を理解し，その知識を活用して，ムヒカ大統領に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項などを理解し，その知識を活用して，ムヒカ大統領に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] 考えや意図をうまく伝えるための表現の知識を活用して，Part 4の本文とActivity Plusのレポートを比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 考えや意図をうまく伝えるための表現の知識を活用して，ムヒカ大統領に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のポスタープレゼンテーションの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，自分が幸福を感じるときを説明する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] ムヒカ大統領に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] ムヒカ大統領に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 4の本文とActivity Plusのレポートを比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] ムヒカ大統領に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，自分が幸福を感じるときを説明する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的にムヒカ大統領に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的にムヒカ大統領に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 4の本文とActivity Plusのレポートを比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にムヒカ大統領に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，自分が幸福を感じるときを説明する英文を書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○			○		○	○		1

2学期	Lesson7 S＋V＋it＋C＋to-不定詞，関係副詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 海洋プラスチック汚染について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ブログなどのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・海洋プラスチック汚染について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・S＋V＋it＋C＋to-不定詞，関係副詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・パラグラフの構造に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ブログなどのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して，世界的な環境問題の解決のためにできることについてわかりやすく書こうとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 主題文と支持文を理解し，その知識を活用して，海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 主題文と支持文や文法事項などを理解し，その知識を活用して，海洋プラスチック汚染に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] 主題文と支持文の知識を活用して，Part 4の本文とActivity Plusの記事を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 主題文と支持文の知識を活用して，ムヒカ大統領に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のSNSの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，環境問題の解決のためにできることを説明するパラグラフを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 海洋プラスチック汚染に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 4の本文とActivity Plusの記事を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 海洋プラスチック汚染に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，環境問題の解決のためにできることを説明するパラグラフを書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 4の本文とActivity Plusの記事を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，環境問題の解決のためにできることを説明するパラグラフを書いて伝えようとしている。	○	○	○	10

2学期	Lesson8 知識・技能 近藤紘子さんのストーリーを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 整理した内容を活用して，平和の定義について説明することができる。 思考・判断・表現 仮定法過去，仮定法過去完了について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 キーワードや言いかえ表現に注意して，英文を理解することができる。 主体的に学習に取り組む態度 ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。 聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・近藤紘子さんのストーリーを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，平和の定義について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・仮定法過去，仮定法過去完了について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・キーワードや言いかえ表現に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] キーワード・言いかえ表現を理解し，その知識を活用して，近藤紘子さんに関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [聞くこと] キーワード・言いかえ表現を理解し，その知識を活用して，近藤紘子さんに関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] キーワード・言いかえ表現の知識を活用して，Part 1の講演とPart 3・4の本文を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] キーワード・言いかえ表現の知識を活用して，近藤紘子さんに関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のディスカッションの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，平和をどのように定義するかを説明する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 近藤紘子さんに関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 近藤紘子さんに関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 1の講演とPart 3・4の本文を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 近藤紘子さんに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，平和をどのように定義するかを説明する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に近藤紘子さんに関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に近藤紘子さんに関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 1の講演とPart 3・4の本文を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に近藤紘子さんに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，平和をどのように定義するかを説明する英文を書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○			○		○	○		1

3学期	Lesson9 分詞構文（現在分詞），関係詞の非制限用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 将来の人間とAIのあるべき姿について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 広告の構成を理解しようとしている。	＜題材内容とねらい＞ ・将来の人間とAIのあるべき姿について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，人間とAIが共存する将来について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・分詞構文（現在分詞），関係詞の非制限用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・広告の構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく人間とAIが共存する将来について説明しようとしている。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現を理解し，その知識を活用して，AIに関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現や文法事項などを理解し，その知識を活用して，AIに関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現の知識を活用して，Part 1・2とActivity PlusのAI活用事例を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現の知識を活用して，AIに関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語の広告の特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，人間とAIが共存する将来を説明する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] AIに関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] AIに関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 1・2とActivity PlusのAI活用事例を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] AIに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，人間とAIが共存する将来を説明する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的にAIに関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的にAIに関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 1・2とActivity PlusのAI活用事例を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にAIに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，人間とAIが共存する将来を説明する英文を書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	Optinal Lesson ストーリーの展開を的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。	＜題材内容とねらい＞ ・ストーリーの展開を的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 [聞くこと] 学習した知識を活用して，ストーリーを聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 学習した文法事項や知識を活用して，ストーリーを読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）]	○	○	○	10
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○			○		○	○		1 合計 105

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　外国語　科目　論理・表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1　学年　　A　組～　　F　組

教科担当者：　（　AB組：中鉢　池田　古宮　）　（　CD組：池田　中鉢　河西　）　（　EF組：河西　中鉢　古宮　）

使用教科書：　（　数研出版　EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Standard　）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】　外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】　日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う

科目　論理・表現Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1.I want to introduce my new friend. 【知識及び技能】 さまざまな疑問文や命令文，感嘆文を適切に作り，それに応答することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分やパートナーのクラブ活動を紹介できるようにする。 ・学校のルールや好きな科目について，理由や具体例などを加えて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題**　紹介：初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 **文法**　文の種類：さまざまな疑問文や命令文，感嘆文を適切に作り，それに応答することができる。また，単文，重文，複文の構成を理解し，まとまりのある文で表現することができる。 **機能**　応答する／理由を述べる：相手の発話に適切な応答をすることができる。また，多様な表現を用い，理由を述べることができる。 **表現**　話す[発表]：自分やパートナーのクラブ活動を紹介できる。 書く：学校のルールや好きな科目について，理由や具体例などを加えて説明できる。 ・副教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	**聞くこと** ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと**　・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと**　・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。　**書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	3

1学期	2.Do you want to join our show? 【知識及び技能】 5つの文型とThere isの構文を理解し，文を組み立ていることができるようにする。また，注意すべき自動詞と他動詞の使い分けができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化祭に行く予定について話し合うことができるようにする。 ・普段の生活や自分の部屋にあるものについて，具体例や情報を挙げて説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** 学校生活：学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して，学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 **文法** 文型と動詞：5つの文型とThere isの構文を理解し，文を組み立ていることができる。また，注意すべき自動詞と他動詞の使い分けができる。 **機能** 賛成・反対する／聞き直す：賛成・反対の意思を示したり，聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 **表現** 話す[やり取り]：文化祭に行く予定について話し合うことができる。 書く：普段の生活や自分の部屋にあるものについて，具体例や情報を挙げて説明することができる。 ・副教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	**聞くこと**　・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと**　・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと**　・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。　**書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	3
	定期考査			○			○		○	○		1
	3.I'm planning a day trip this weekend. 【知識及び技能】　基本時制の構造と概念を理解し，伝えたいことを適切な時制を用いて，書いたり話したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・旅行の経験について詳細に話すことができるようにする。 ・最近週末にしたことや予定していることについて，具体的に詳細を書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項　**話題** 旅行・観光：旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 **文法** 時制：基本時制の構造と概念を理解し，伝えたいことを適切な時制を用いて，書いたり話したりすることができる。 **機能** 激励する・励ます／計画する・予定する：会話の相手を激励したり，励ましたりすることができる。また，計画したり，予定したりいることを伝え合うことができる。 **表現** 話す[発表]：旅行の経験について詳細に話すことができる。 書く：最近週末にしたことや予定していることについて，具体的に詳細を書いて伝えることができる。 ・副教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	**聞くこと**　・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと**　・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと**　・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。　**書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	5

1学期	4.Have you ever tried it before? 【知識及び技能】 現在・過去・未来完了形の概念を理解し，それぞれの用法を区別することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツや音楽の経験について伝え合うことができるようにする。 ・行ったことのある場所や初めて何かを経験した時のことについて，考えや気持ち，具体例を挙げて，伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** 趣味・関心：趣味や関心のあることについて，その経験を尋ねたり，伝え合ったりする表現を学ぶ。 **文法** 完了形：現在・過去・未来完了形の概念を理解し，それぞれの用法を区別することができる。また，共に使える語句を使って，適切に文を作ったり，表現したりすることができる。 機能 経験を尋ねる／初めての経験を述べる：これまでの経験や初めての経験について，様々な表現を用いて尋ねたり，伝えたりすることができる。 **表現** 話す[やり取り]：スポーツや音楽の経験について伝え合うことができる。 書く：行ったことのある場所や初めて何かを経験した時のことについて，考えや気持ち，具体例を挙げて，伝えることができる。 ・副教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	**聞くこと** ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと** ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと** ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。 **書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	5.What do you want to do after school?　【知識及び技能】 助動詞：助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し，適切に使い分けて表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の夢について伝え合うことができるようにする。 ・家のルールや小学生の頃のこと，またいつかしてみたいことについて，自分の主張に情報や考え，気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** 将来・進路：将来や進路について，自分の意見や考えを伝えたり，相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 **文法** 助動詞：助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し，適切に使い分けて表現することができる。 **機能** 許可を求める・依頼する／義務・必要を表す／回想する・自省する：会話の相手に許可を求めたり，依頼することができる。また，義務や必要性を伝えたり，過去の事柄を回想したり，自省することができる。 **表現** 話す[やり取り]：将来の夢について伝え合うことができる。 書く：家のルールや小学生の頃のこと，またいつかしてみたいことについて，自分の主張に情報や考え，気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。 ・副教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	**聞くこと** ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと** ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと** ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。 **書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	3

2学期	6.Did you hear about the new shop? 【知識及び技能】 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の買い物について詳細に伝えることができるようにする。 ・お薦めの小説や最近驚いたことについて，情報や考え，気持ちなどを適切に書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** 日常生活：日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び，自分の感情や物事を詳細に表現することができる。 **文法** 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝えることができる。 **機能** 原因・影響を表す／喜び・驚きを表す：様々な表現を用いて，原因や影響について表現することができる。また，喜びや驚きの感情を表すことができる。 **表現** 話す[やり取り]：自身の買い物について詳細に伝えることができる。 書く：お薦めの小説や最近驚いたことについて，情報や考え，気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。 ・副教材 ・一人一台端末活動 等	○	○	○	○	○	**聞くこと** ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと** ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと** ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。 **書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	3
	定期考査			○			○		○	○		1
	7.I’m happy to have you with us. 【知識及び技能】 不定詞：不定詞の様々な用法を学び，より詳細な情報を伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・受け取った贈り物について詳細に伝えることができるようにする。 ・自分の夢，高校生が日常生活で行うべき大切なこと，日常生活でしないように気を付けていることについて，自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 話題 交流・交際：誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから，感情を表す様々な表現を学ぶ。 文法 不定詞：不定詞の様々な用法を学び，より詳細な情報を伝えることができる。 機能 感謝する／謝罪する／弁解する：感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び，会話の相手に感情を適切に伝えることができる。 表現 話す[やり取り]：受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。 書く：自分の夢，高校生が日常生活で行うべき大切なこと，日常生活でしないように気を付けていることについて，自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。 ・副教材 ・一人一台端末活動 等	○	○	○	○	○	**聞くこと** ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと** ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと** ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。 **書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	4

2学期	8.What sport do you like playing? 【知識及び技能】 動名詞：動名詞の様々な用法を学び，動名詞句を使用した多様な文で伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツをすることの利点について発表することができるようにする。 書・得意なスポーツや活動，楽しみにしていることについて，情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** スポーツ・健康：スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり，見学を勧めたりする表現を学ぶ。 **文法** 動名詞：動名詞の様々な用法を学び，動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。 **機能** 誘う・申し出る／推薦する：相手を誘ったり，申し出たりする表現を使うことができる。また，相手に物事を適切に推薦することができる。 **表現** 話す[発表]：スポーツをすることの利点について発表することができる。 書く：得意なスポーツや活動，楽しみにしていることについて，情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができる。 ・副教材　　・一人一台端末活動　等	○	○	○	○	○	**聞くこと**　・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと**　・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと**　・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。　**書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1
3学期	9.Digital media has come a long way. 【知識及び技能】 名詞を修飾する用法や補語になる用法，また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身や自身の性格について発表することができるようにする。 家族や友人と撮った写真や日本人の一般的な特徴について，具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** メディア・コミュニケーション：留学生とのやり取りから，メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり，情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。 **文法** 分詞： 名詞を修飾する用法や補語になる用法，また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 **機能** 描写する／判断の根拠を述べる：人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また，判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。 **表現** 話す[発表]：自分自身や自身の性格について発表することができる。 書く：家族や友人と撮った写真や日本人の一般的な特徴について，具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。 ・副教材　　・一人一台端末活動　等	○	○	○	○	○	**聞くこと**　・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと**　・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと**　・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。　**書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	5

3学期	10.That’s why I decided to go back. 【知識及び技能】 関係詞：関係詞を用いて複文を作り，語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また，複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の文化や人たちについて紹介することができるようにする。　・家族や友だちの紹介や今あなたに必要なもの，どんな国［市，町］に住みたいかについて，論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり，意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 **話題** 文化・異文化理解：日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから，日本特有の言葉や文化，また異文化について紹介したり，その違いについて述べる会話表現を学ぶ。 **文法** 関係詞：関係詞を用いて複文を作り，語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また，複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 **機能** 定義する／言い換える／経緯を説明する：人や物事，経緯を詳細に説明したり，言い換えや要約することができる。 **表現** 話す[発表]：日本の文化や人たちについて紹介することができる。 書く：家族や友だちの紹介や今あなたに必要なもの，どんな国［市，町］に住みたいかについて，論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり，意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝えることができる。 ・副教材　・一人一台端末活動　等	○	○	○	○	○	**聞くこと**　・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。 **読むこと**　・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図読み取ることができる。・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 **話すこと**　・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。 **書くこと** ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1 合計 46

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　情報　　科目　情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　１ 学年　　Ａ組～　　Ｆ組

教科担当者：　（Ａ組：糸井和宏）（Ｂ組：糸井和宏）（Ｃ組：糸井和宏）（Ｄ組：糸井和宏）（Ｅ組：糸井和宏）（Ｆ組：糸井和宏）

使用教科書：　（　（実教7 情Ⅰ705）最新情報Ⅰ　）

教科　　情報 の目標：

【知識及び技能】　効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション ・中学校までの学習，経験等既習内容の調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了の方法，OSの基本操作について練習する。 ・ファイルの保存，読み込み，共有フォルダの利用方法について理解する。 ・コンピュータ教室の使い方を理解する。	オリエンテーション		○			1
			・コンピュータを起動し，目的とするアプリケーションを開くことができ，正しい手順で終了することができる。	○			
			・アプリケーションで作成したファイルを保存したり，保存したファイルを読み込んだりすることができる。また，ファイルを共有フォルダに保存することができる。	○			
			・コンピュータ教室のルールを理解している。	○			
	第１章　情報社会と私たち 1　情報社会 ・情報社会の現状について理解する。 ・情報の特性について理解する。 ・情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。	・情報社会と情報 ・情報の特性 ・情報のモラルと個人に及ぼす影響	・情報社会の現状についてインターネット等で調べようとしている。			○	2
			・データ，情報，知識の意味と相互の関係について説明することができる。	○			
			・ビッグデータの意味について説明することができる。	○			
			・ビッグデータの活用例を挙げることができる。		○		
			・情報化が進展する社会の特質について説明することができる。	○			
			・情報の特性を活用した事例と，情報の特性によって生じる事例を挙げることができる。		○		
			・SNSの活用など，不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点を挙げることができる。		○		
			・情報と情報技術の活用により加害者にならないための注意点や被害者にならないための対策方法をそれぞれ挙げることができる。		○		
			・情報社会と人間との関わりについて考え，理解する。	○			
			・ネット依存等，情報化が個人に及ぼす影響について考え，自らの情報活用について振り返り，改善方法しようとしている。			○	
	2　情報社会の法規と権利 ・知的財産権について理解する。 ・他人の著作物を適切に利用したり，自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 ・個人情報とプライバシーについて理解し，それらを保護する方法を身に付ける。	・知的財産 ・情報の利用と公開 ・個人情報の保護と管理	・知的財産権の概要について説明することができる。	○			3
			・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。		○		
			・著作者および伝達者の権利についての法律を挙げることができる。	○			
			・目的を達成するために，著作物を法にしたがって適切に利用する方法を説明することができる。	○			
			・個人またはグループで創作した著作物を他者が利用できるように条件を付けて公開することができる。	○			
			・著作権の例外規定や著作物の利用条件にしたがって，著作物を適切に利用することができる。	○			
			・個人情報およびプライバシーの概念を理解し，保護や管理の方法について説明することができる。	○			
			・他人や自分の個人情報とプライバシーを適切に取り扱う際の注意点を挙げることができる。		○		
			・個人情報の流出を防ぎ，適切に管理することができる。	○			
			・問題を解決するために，知的財産を適切に活用し，主体的に創作活動に参画しようとしている。			○	
	3　情報技術が築く新しい社会 ・社会の中で利活用されている情報技術について理解する。 ・様々な情報技術について理解し，課題解決の方法をについて考える。	・社会の中の情報システム ・情報技術と課題解決	・社会の中の情報システムについて，興味や関心を持っている。			○	1
			・POSシステム，電子マネー，電子決済の仕組みを実例を挙げて説明することができる。	○			
			・人工知能，IoT，仮想現実や拡張現実についてそれぞれ説明することができる。	○			
			・IoTや人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができる。			○	

1学期	第２章　メディアと情報デザイン １　メディアとコミュニケーション ・メディアには種類があることを理解し，メディアの発達について知る。 ・メディアの特性について理解し，目的に応じたメディアを選択することができる。 ・コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 ・インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。	・メディアの発達 ・メディアの特性 ・コミュニケーションの形態 ・インターネットのコミュニケーション	・メディアの機能について説明することができる。	○			5
			・様々なメディアを分類することができる。	○			
			・メディアの発達について説明することができる。	○			
			・文字，図形，音声，静止画などの各表現メディア，情報メディア，伝達メディアの特性についてそれぞれ説明することができる。	○			
			・伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。		○		
			・情報メディアや表現メディアを活用し，主体的に情報を発信することができる。			○	
			・情報の信憑性や信頼性について吟味し，情報の真意を読み解くことができる。		○		
			・メディアから収集する情報を批判的に思考し，主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。			○	
			・メディアを活用したり，メディアを用いてコミュニケーションを図ったりすることができる。	○			
			・コミュニケーションの方法を発信者と受信者の人数，位置関係，同期性により分類することができる。		○		
			・コミュニケーションの形態や特性を考え，コミュニケーションの目的に沿った方法を選択することができる。		○		
			・電子メールSNSなど，インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。	○			
			・適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために，情報メディアを適切に選択することができる。		○		
			・自らのメディア活用について振り返り，より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとしている。			○	
			・コミュニケーションを図る活動を行い，自己評価や相互評価に基づいてコミュニケーションの技能を改善しようとしている。			○	
	２　情報デザイン ・社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 ・情報を正確に，わかりやすく伝える方法について理解する。	・社会の中の情報デザイン ・情報デザインの工夫	・情報バリアフリー，ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。	○			2
			・情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて，身近な例を挙げることができる。		○		
			・Webアクセシビリティ，ユーザビリティの意味について説明することができる。	○			
			・Webアクセシビリティやユーザビリティを高めるために，ユーザインタフェースを改善することができる。		○		
			・効果的なコミュニケーションや問題解決のために，主体的に情報を整理したり，わかりやすく伝達したり，操作性を高めたりする努力をしようとしている。			○	
			・情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫，表やグラフ，配色の工夫など基本的な方法を理解している。	○			
			・目的に沿って，情報を視覚化したり配色を考えて表現することができる。		○		
			・情報伝達やコミュニケーションを促進するための情報デザインの工夫について，提案することができる。		○		
			・情報をわかりやすく伝達するために，文字や図，表やグラフなどを工夫して表現する学習活動を自ら進んで行い，評価を受けて改善を図ろうとしている。			○	
	３　情報デザインの実践 ・報告書やレポート，論文を作成するための手順について理解する。 ・プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 ・Webページ作成の方法について理解する。	・文書の作成 ・プレゼンテーション ・Webページ	・文書の基本的なレイアウト，文字のフォントやスタイルなどについて理解するとともに，実際に報告書やレポートを作成することができる。	○			8
			・文献やインターネットから情報を収集したり，調査等を行って情報を収集したりすることができる。	○			
			・報告者やレポートの目的に沿って，情報を収集し，文書の構成やレイアウト等の体裁を考えながら，ワープロを用いて読む人が理解しやすい文書を作成することができる。		○		
			・わかりやすい報告書やレポートを作成するため，文書の構成やレイアウトについて自ら進んで工夫し，教員の助言や相互評価に基づいて改善しようとしている。			○	
			・プレゼンテーションの企画，準備，実施，評価・改善など，プレゼンテーションの流れについて説明することができる。	○			
			・実際にプレゼンテーションのためのスライド等の資料をコンピュータで作成することができる。	○			
			・プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し，適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。		○		
			・説得力のあるプレゼンテーションを行うため，スライドの作成やリハーサルに取り組み，フィードバックを行いながら，よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備を進めている。			○	
			・情報を公開する目的で，HTMLやCSSを使ってWebページを作成することができる。	○			
			・HTMLとCSSを用いて情報デザインを配慮したWebページを作成し，情報を公開することができる。		○		
			・プレゼンテーションの実施やWebページの公開にあたって，情報伝達の目的に適合するコンテンツ制作に努め，試行錯誤しながら個人やグループのコンテンツ制作の技能を高めようとしている。			○	
	定期考査			○	○		1

2学期	第３章　システムとデジタル化 1　情報システムの構成 ・コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ・ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。	・コンピュータの構成と動作 ・ソフトウェアとインターフェース	・コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。	○			2
			・コンピュータを構成する各装置の機能と相互の関係考え，適切に接続して動作させることができる。		○		
			・コンピュータの計算の仕組みについて，順序立てて説明することができる。		○		
			・コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し，自分で調べようとしている。			○	
			・ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。	○			
			・ハードウェア，OS，応用ソフトウェアの関係を説明することができる。	○			
			・インタフェースの意味や種類について，例を挙げて説明することができる。	○			
			・情報機器を相互に接続するために，適切なインタフェースを選択することができる。		○		
			・コンピュータが計算する仕組みについて興味・関心を持ち，粘り強く理解しようとする。			○	
			・スマートフォンなどの身近な情報機器について，性能の向上や発展的な活用の方法を考えようとしている。			○	
	2　情報のデジタル化 ・アナログとデジタルの違いについて理解する。 ・2進数と情報量の関係について理解する。 ・コンピュータの演算の仕組みを理解する。 ・数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ・コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 ・音声をデジタルで表現する方法について理解する。 ・静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 ・情報のデータ量を小さくする方法について理解する。	・アナログとデジタル ・2進数と情報量 ・演算の仕組み ・数値と文字の表現 ・数値の計算 ・音声の表現 ・静止画と動画の表現 ・情報のデータ量	・アナログとデジタルの概念とその違いを理解している。	○			8
			・データの圧縮の種類や仕組みを理解し，圧縮・解凍することができる。	○			
			・アナログとデジタルを比較し，その特徴を適切に説明できる。		○		
			・圧縮する情報の用途に応じて，適切な圧縮方法を選択できる。		○		
			・情報のデジタル化について，より深く理解しようとしている。			○	
			・2進数と情報量の関係について説明することができる。	○			
			・情報量を適切な単位で表現したり，変換したりできる。		○		
			・論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。	○			
			・コンピュータによる演算や数値計算の仕組みについて関心を示し，理解しようとしている。			○	
			・2進数・10進数・16進数を相互に変換することができる。	○			
			・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○			
			・2進数・10進数・16進数を用い，目的に応じて適切に情報量を表現できる。		○		
			・数値・文字の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。		○		
			・2進数の加算や減算をすることができる。	○			
			・補数について説明することができる。	○			
			・コンピュータでの数値計算の誤差について説明することができる。	○			
			・データ量の計算について関心を持って取り組もうとしている。			○	
			・音声の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○			
			・音声のデータ量を計算できる。	○			
			・音声の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。		○		
			・画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○			
			・静止画や動画等のデータ量を計算できる。	○			
			・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。		○		
			・データ量から圧縮率を求めることができる。	○			
			・圧縮率から圧縮効率を判断することができる。		○		
			・数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を，主体的かつ適切に取り扱おうとしている。			○	
	第４章　ネットワークとセキュリティ 1　情報通信ネットワーク ・情報通信ネットワークの構成について理解する。 ・ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する。 ・Webページとメールの仕組みについて理解する。 ・ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。	・ネットワークの構成 ・情報通信の取り決め ・Webページとメールの仕組み ・転送速度とデータ圧縮	・通信方式の種類やその違いについて説明することができる。	○			3
			・LANを構成する機器について，それらの役割を説明することができる。	○			
			・目的に沿って，LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。		○		
			・実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ，問題を指摘してネットワークの改善につなげようとしている。			○	
			・インターネット通信の階層構造，各プロトコルの働きについて説明することができる。	○			
			・WebサーバのIPアドレスを調べることができる。	○			
			・IPアドレス，ドメイン名，ルーティングの基本的な仕組みや働きについて説明することができる。	○			
			・WWWや電子メールなど，インターネットのサービスの内容と基本的な仕組みを説明することができる。	○			
			・目的に応じて，適切にインターネットのサービスを選択して利用することができる。	○			
			・通信データの転送速度とファイルを圧縮する意義について理解している。	○			
			・コンピュータでファイルを圧縮することができる。	○			
			・ファイルのデータを効率的に圧縮して転送することができる。		○		
			・インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持ち，問題の解決に向けて，個人あるいはグループでネットワークの活用について検討しようとしている。			○	

2学期	2　情報セキュリティ ・脅威に対する様々な安全対策について理解する。 ・情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 ・情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	・脅威に対する安全対策 ・情報セキュリティの確保 ・安全のための情報技術	・情報セキュリティの３つの基本的な考え方について説明することができる。	○			4
			・適切なパスワードを作成し，設定することができる。	○			
			・パスワードの設定と管理について考え，適切に判断して実行することができる。		○		
			・コンピュータウイルスなど，マルウェアの種類や被害の実態について理解し，その対策方法について説明することができる。	○			
			・マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し，対処することができる。		○		
			・不正アクセスなどサイバー犯罪の種類や内容，被害の実態，およびその対策方法について説明することができる。	○			
			・マルウェアやサイバー犯罪の被害に遭わないように，リスクを軽減するための対策を継続して行おうとしている。			○	
			・情報セキュリティポリシーの概要や意義について説明することができる。	○			
			・情報セキュリティの確保に向けて，目的に応じて，アクセス制御やフィルタリングなど適切な方法を選択することができる。		○		
			・情報セキュリティポリシーの必要性を感じている。			○	
			・メッセージの送受信，デジタル署名，電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。	○			
			・暗号の利用など，情報セキュリティを維持するための技術に関心を持っている。			○	
			・暗号化などの理解のもと，安全に情報を送受信するための仕組みを実際に活用しようとしている。			○	
			・情報セキュリティを維持するための対策を自ら進んで行うとともに，自分で振り返るとともに，教員の助言や相互評価に基づいて改善を図ろうとしている。			○	
	第６章　アルゴリズムとプログラミング 1　プログラミングの方法 ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・プログラミング言語の種類とその特徴につ	・アルゴリズムとその表記 ・プログラミング言語	・プログラミングの目的や実行するコンピュータの種類を考慮して適切なプログラミング言語を選択できる。		○		3
			・プログラミング言語に興味を示し，実際に自ら活用している（活用した経験がある）。			○	
	2　プログラミングの実践 ・変数を使用したプログラムを作成する。 ・関数を使用したプログラムを作成する。 ・多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。	・プログラミングの方法 ・関数を使用したプログラム ・探索と整列のプログラム	・変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができる。	○			7
			・配列を使用して反復構造等のプログラムを作成することができる。	○			
			・問題解決のアルゴリズムにしたがって，基本制御構造を使用して適切かつ効率的にプログラムを作成することができる。		○		
			・関数の概念を理解して関数を使用し，簡単なプログラムを作成することができる。	○			
			・関数を活用したプログラムを設計し，わかりやすく効率的なプログラムを作成できる。		○		
			・探索（線形探索，二分探索）および整列（バブルソート）のアルゴリズムを理解し，プログラムを作成することができる。	○			
			・アルゴリズムの評価の意義について理解し，探索のアルゴリズムの違いによる評価を行うことができる。	○			
			・データ量と計算量の変化からアルゴリズムを評価し，適切なアルゴリズムを選択することができる。		○		
			・問題解決のためのアルゴリズムを考え，粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。			○	
			・問題解決のために作成したプログラムの記述を学習者間で相互評価し，改善してより効率的なプログラムを作成する努力を惜しまない。			○	
	定期考査			○	○		1

3学期	第５章　問題解決とその方法 １　問題解決 ・問題解決の手順について理解する。 ・問題の発見の方法について理解する。 ・問題を明確化する方法について理解する。 ・解決案を検討したり，整理・分析したりする方法について理解する。 ・合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。 ・実行した解決案を評価する方法について理解する。	・問題解決 ・問題の発見 ・問題の明確化 ・解決案の検討 ・解決案の決定 ・解決案の実施と評価	・問題や問題解決の意味，問題解決の手順について説明することができる。	○			5
			・問題の発見のための現状の把握の方法について具体的な例を挙げることができる。	○			
			・問題発見のための現状分析の方法を考え，適切に選択できる。		○		
			・主体的に問題解決に取り組み貢献しようとしている。			○	
			・ブレーンストーミングやグループディスカッション等，問題の発見・解決のためのグループでの活動には積極的に参画している。			○	
			・問題の明確化のための目的や目標の設定や，問題の構造を分析することができる。	○			
			・問題の解決案を検討するために，情報の収集・整理することができる。	○			
			・問題の解決案を検討するために必要な情報を収集・整理し，検討のための適切な資料を作成できる。		○		
			・問題解決の制約条件を考え，目的と目標の設定を適切に行うことができる。		○		
			・問題の解決案を比較検討する資料をしたり，問題解決の工程表を作成したりすることができる。	○			
			・個人あるいはグループで解決案を検討し，制約条件の中で最適な解決案を判断して決定できる。		○		
			・グループで合意を形成できるよう，適切な問題解決の計画を立案することができる。		○		
			・問題解決の評価の方法について理解している。	○			
			・問題解決に適合した評価を計画・実施して，分析しやすいように評価結果を纏めることができる。		○		
			・試行錯誤しながら，粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。			○	
			・問題解決の結果を振り返り，積極的に自己評価や相互評価を行い，改善を図ろうとしている。			○	
	２　データの活用 ・データを収集したり，整理したりする方法について理解する。 ・表計算ソフトの活用方法について理解する。 ・データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 ・データ分析の手法について理解する。 ・データベースの種類とその仕組みについて理解する。	・データの収集と整理 ・データ分析と表計算 ・データの可視化 ・データ分析の手法 ・データベースとは	・データの種類と尺度水準について理解し，収集したデータを整理することができる。	○			7
			・表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出などができる。	○			
			・表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理することができる。	○			
			・問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集する力がある。		○		
			・問題解決の目的や内容に沿って，適切に尺度水準を用いてデータの整理を行うことができる。		○		
			・問題の発見や解決のために，オープンデータの選択やサンプリングなど，データを主体的に収集しようとする。			○	
			・問題解決の目的や条件にしたがって，表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる。		○		
			・グラフの種類や機能を理解し，表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。	○			
			・問題解決の目的に応じて，データをグラフ等で適切に可視化して表現する力がある。		○		
			・問題解決のため，表計算ソフト等を用いて収集した情報を処理したり，グラフで可視化したりすることに興味を持っている。			○	
			・クロス集計，相関係数を用いた分析，回帰分析を行うことができる。	○			
			・問題解決の目的に応じて，データ分析の手法を適切に選択し，分析結果を効果的に表現する力がある。		○		
			・問題解決のためのデータ分析を，試行錯誤しながら粘り強く行うことができる。			○	
			・データベースの意味と必要性を理解し，事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明することができる。	○			
			・リレーショナルデータベースとNoSQLの特徴を考慮して，格納するデータの性質や量に応じて選択できる。		○		
			・問題解決のためのデータ活用に関する取り組みを，データ分析の方法や分析結果の妥当性について，自己評価や相互評価で振り返り，改善しようとしている。			○	

3学期	3　モデル化 ・モデル化の意味について理解する。 ・モデル化の分類について理解する。 ・モデル化する手順と方法を理解し，様々なモデルを作成する。	・モデル化とシミュレーション ・モデルの分類 ・モデル化の手順 ・モデル化の手法 ・モデル化をする時の注意	・モデル化およびシミュレーションの意味について説明することができる。	○			5
			・モデル化およびシミュレーションが社会の問題解決でどのように利用されているかを例を挙げて説明することができる。	○			
			・モデル化およびシミュレーションが，社会の問題解決に果たす役割について考え，事例を挙げて説明することができる。		○		
			・現実の現象についてのモデル化に関心を持ち，自ら進んでモデル化を試みるなど，主体的に学習に取り組んでいる。			○	
			・縮尺モデルなど表現形式による分類，動的モデルなど対象の特性による分類など，モデルを分類することができる。	○			
			・実際に使われているモデルについて検討し，表現形式や対象の特性で適切に分類することができる。		○		
			・モデル化の基本的な手順について説明することができる。	○			
			・問題を整理したり，構造を明らかにしたりするために，図的モデルを作成することができる。	○			
			・動的に変化する現象のいくつかの事例について，図的モデルや数式モデルで表し，表計算ソフトウェアを用いて，グラフを作成することができる。	○			
			・問題解決の目的に応じて，モデルに適用する要素を省略したり変更したりする必要があり，それに伴ってモデル自体が変化することを理解している。	○			
			・モデル化の目的を明確にして適切にモデルの構造を決定し，モデルを数式などで表現することができる。		○		
			・現実の問題をモデル化するために，図的モデルや数式モデルを作成し，それらに基づいて表やグラフを作成することができる。		○		
			・作成したモデルに対し，目的を達成しているかの観点で自己評価，および相互評価を行ってモデルの改善に努めようとする。			○	
	4　シミュレーション ・シミュレーションの意義について理解し，確率的モデルのシミュレーションを行う。 ・問題解決のためにシミュレーションを活用する。	・シミュレーションの実際 ・モンテカルロ法 ・モデル化とシミュレーションによる問題解決	・シミュレーションの意義や方法について説明することができる。	○			4
			・確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする意義について説明することができる。	○			
			・モンテカルロ法の意味を理解し，いくつかの事例でモンテカルロ法を用いてシミュレーションを行うことができる。	○			
			・表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して，確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができる。		○		
			・待ち行列を事例にモデル化とシミュレーションによる問題解決を行い，問題解決の方法を経験して理解している。	○			
			・例題のシミュレーションの結果は，試行するたびに変化することの意味を考え，確率的モデルと他のモデルとを比較・検討することができる。		○		
			・モンテカルロ法や待ち行列など確定的モデルのシミュレーションの過程を表やグラフで表現することができる。		○		
			・店舗の待ち行列など，具体的な事象のシミュレーションに関心を持ち，シミュレーションを用いた問題解決を意欲的に取り組む。			○	
			・待ち行列を事例に，表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算したり，パラメータを変更して再度シミュレーションを行ったりするなど，試行錯誤してシミュレーションの結果を分析し，評価しようとしている。			○	
			・店舗のレジの待ち行列のシミュレーションを繰り返し，レジの窓口数を検討するなど，シミュレーションの結果を用いて問題を解決しようとしている。			○	
	定期考査			○	○		1
							合計 73